



ヒバクシャ国際署名
長野県推進連絡会

NEWS

NO.15
2021.2.3

発行
長野県推進連絡会
長野市旭町1098 教育会館内

核兵器禁止条約1.22発効 長野駅前宣伝行動で市民に訴え



「核兵器禁止条約」が、1月22日に発効することになったことを受けて、ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会では、1月22日に駅前宣伝行動を行いました。

宣伝行動では、県原爆被害者の会（長友会）から、藤森俊希さん、今井和子さん、前座明司さん、明恒次郎さん、県連絡会代表世話人の若麻績敏隆さん、県原水禁から松澤佳子さん、県原水協から堰免久美さんが訴えをしました。訴えとともに、横幕やプラカードを掲げたスタンディングの他、チラシの配布を行い、行動参加者は32人でした。

禁止条約の発効によって、核兵器が歴史上初めて違法化されることになり、核保有国とその同盟国に対して大きな圧力になります。被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める世界の人々の願いを実現するための歴史的な扉が開かれました。

各氏からのアピール

【藤森俊希さん（日本被団協事務局次長・県原爆被害者の会会長）】

いよいよ1月22日、世界で初めて核兵器禁止条約が発効します。現在、核兵器禁止条約には86カ国の署名、52カ国が批准しています。2021年中には70カ国に増えるのではないかといられています。地球上核兵器のない世界をつくる努力は確実に広がっています。日本政府は核兵器禁止条約に背を向け、署名にも批准にも一切手を出さずにいます。日本被団協は本日、日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准すること



を求める署名に取り組みます。皆さん、力を合わせて、核兵器のない平和な世界を力強くすすめるために、ともにがんばりましょう。

【今井和子さん（県原爆被害者の会幹事）】



核兵器禁止条約が1月22日効力を発します。核兵器が抑止力としての必要悪ではなく、非人道的な絶対悪として新しい世界のルールができました。8月6日、私は広島で被爆しました。5歳でした。一発の原子爆弾によって広島の街は廃墟となり、人間の尊厳を奪われました。日本は唯一の戦争被爆国として核兵器の非人道性を世界に訴える責任があります。日本が変われば世界が変わります。世界の先頭に立って、核兵器のない本当の平和を目指して下さい、他国の核兵器に守られることを望んでいませんと、国民の意思を伝えましょう。

【若麻績敏隆さん】



被爆者の皆さんが受けた苦しみを、世界のどなたにも味わわせていけない、そういう尊い願いが世界中に届き、核兵器禁止条約の発効となったわけです。私どもは現在、様々な問題を抱え、一昨年台風19号災害など、人類の積み上げてきた文明が大きな脅威になってきています。その最も象徴的に表しているものが核兵器だと思います。私たちは今こそ、藤森さん、今井さんのような皆さんの声に耳を傾け、私たちの国から率先して核兵器禁止条約を推し進めて、核兵器廃絶に至らせる方向を、皆さんと共有していきたいと思っています。

【前座さん（県原爆被害者の会副会長）】



私は被爆2世です。私の父は1945年8月6日、広島爆心地に近い所で被爆しました。そして命からがら悲惨な状況下で救援活動しながら、縁があって松本に身を寄せました。私のような被爆2世は、全国で30万人、40万人いらっしゃると思います。その方々がずっと訴えてきたのは、私たちと同じ悲惨な状況に遭わせたくないという思いです。今日発効する核兵器禁止条約は、被爆者の方々が訴えてきた願いが叶う第一歩だと思います。これからも被爆者の方々とともに、核兵器廃絶に向けてがんばっていききたいと思っています。

【明恒次郎さん（県原爆被害者の会幹事）】



私は被爆2世です。父は1.7kmの爆心地からの距離で15歳の時に被爆し、そのとき受けた背中への傷が元で72歳にこの世を去りました。私は広島市内で過ごしましたが、当時、核実験が行われるたびに広島平和公園前で、10人20人の方々が座り込みをされていたことが脳裏に焼き付いています。今回発効する核兵器禁止条約の事実を、それらの方々に伝えたいと思います。高齢化した被爆者に残された時間はわずかですが、力のある限り平和を願うみなさんとともに、核兵器のない世界に向かって、いっしょに歩き続けていきたいと思います。

核禁条約が発効 「廃絶へ出発点」

県内の被爆者ら訴え

核兵器の開発や保有、使用などを全面的に禁じた核兵器禁止条約（核禁条約）が発効した22日、県内の被爆者らが長野市のJR長野駅前で声を上げた。「核廃絶への出発点」と喜びを分かち合いつつ、米国の「核

の傘」を理由に条約参加に後ろ向きな日本政府を改めて批判した。

条約は2017年7月に国連で採択され、その後の批准が50カ国・地域に達したことで効力を発した。

1歳4カ月で広島市の爆心地近くの土手で母に背負われていて被爆した藤森俊希さん(76)は「核兵器のない平和な社会をつくる努力は確実に世界に広がっている」と喜ぶ一方、日本政府が「背を向けている」と訴えた。今後、批准を求める署名活動に取り組むという。

5歳の誕生日を前に広島で被爆した今井和子さん(80)は「核兵器は非人道的な絶対悪とする

新しい世界のルールが始まる」と評価。「唯一の戦争被爆国・日本は核兵器の非人道性を訴える責任があるし、世界もそれを求めている」と力を込めた。

主催した「ヒバクシャ国際署名」県推進連絡会によると、核廃絶を願うこうした活動が発効に大きな役割を果たした。県内では26万7744人が集まり、全国分とまとめて今月8日に国連本部に目録が提出されたという。

(北沢祐生)

【松澤佳子さん（県原水禁：県労組会議議長）】

今日は歴史的に意義のある核兵器禁止条約発効の日です。核兵器をなくしたいという市民の声が、長い間被爆者の皆さんが被爆の実相を訴えてきた成果が現れた歴史的な日です。しかし菅首相は条約への参加を考えていないと発言しています。私たちは、反核・平和の火のリレー、原発自治体への要請行動、平和行進をおこない、被爆者の皆さんと手を携えて条約発効の日を願ってきました。日本の首相の冷たい姿勢を直していくためにも、市民の皆さんといっしょに、声を上げ続けていきたいと思ひます。ともにがんばりましょう。



【堰免久美さん（県原水協：新婦人の会事務局長）】

新婦人は1962年の創立以来、目的の第1番目に核兵器をなくすことを掲げてきました。今日、核兵器禁止条約が発効することをとても嬉しく思ひます。世界には未だに1万4000発に近い核兵器が存在します。核兵器は平和のために役立っているとか、日本はアメリカの核の傘に守ってもらっているとか、そう言つて核兵器禁止条約には参加していません。核兵器はどんどん小型化され、開発され、威力が大きくなつています。日本が禁止条約に参加するよう、みなさんが声を挙げれば政府は変わっていきます。声を上げていきましょう。



核兵器禁止条約発効を受け、廃絶に向けて更なる運動の前進を誓う藤森俊希さん（前列左から3人目）ら。長野市

「核兵器禁止条約」発効を歓迎し、一日も早い「核兵器のない世界」実現を願う ——「核兵器禁止条約」発効にあたっての声明——

2017年7月7日、国連会議で採択された「核兵器禁止条約」は、その年の9月20日調印・批准開始からほぼ3年、昨年2020年10月25日、批准国が50か国に達し、条約の規定に従って90日後の今年2021年1月22日に発効しました。

「核兵器禁止条約」は、核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、使用、さらには、配備や使用の威嚇など、核兵器のあらゆる分野の活動を禁止しています。

また、被爆者や実験被害者などの救済・支援、核兵器の廃絶への道筋も明らかにしているなど、核兵器を歴史上はじめて、国際人道法に反する「非人道的兵器」として、「違法化」した画期的な国際条約です。

「核兵器禁止条約」の発効を、カナダ在住の被爆者、セツコ・サーロさんは「核兵器の終わりの始まり」と表現しましたが、まさに、核兵器を「非人道的」で、「違法」な兵器として「終わり」にする時代が始まったこととなります。

昨秋の国連総会での「核兵器禁止条約促進決議」は、国連加盟国の3分の2を超える130か国が賛成し、今や核兵器禁止・廃絶への流れは後戻りできない国際的な大きなうねりとなり、核保有国や核依存国に対しても大きな圧力となっています。

核兵器禁止条約採択・発効を実現したのは、自らの人生をかけて核兵器廃絶を世界に訴え続けてきた被爆者の願いと運動の力であり、それを受け止めて世論と運動を広めてきた世界の非核平和運動、非核の立場に立つ多くの諸国政府、国連の共同の力です。

私たちが進めてきた「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（ヒバクシャ国際署名）も全国で1370万筆余が国連に提出され、長野県連絡会でも約27万筆が集約されていますが、この署名も核兵器禁止条約発効に大きな役割を果たしたと確信します。ご協力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

しかし、唯一の戦争被爆国日本政府は、この核兵器禁止条約に調印も批准もしていないことは重大です。被爆国日本が禁止条約に参加することは、世界中に大きな影響を与え、核兵器禁止・廃絶への世界の流れを大きく前進させることとなります。

私たちは、日本政府に対して、その核政策を転換して、核兵器禁止条約に調印・批准をし、核兵器禁止・廃絶の先頭に立ってリードするよう要請します。

私たちは今後も、一層幅広い共同を広げて、核兵器禁止条約を力に、核兵器禁止・廃絶に向けて、世論と運動を広げるために努力していくことを表明します。

2021年1月22日 核兵器禁止条約発効の日

ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会

